

アブラハムと割礼: Abraham and circumcision

神はアブラハムに言われた。「あなたは、あなたの子孫とともに、代々に、わたしの契約を守らなければならない。あなたがたが守るべきわたしの契約のしるしは、あなたがたの中のすべての男子が割礼を受けることである。包皮の肉を切り捨てること、それが、割礼であり、あなたがたの中の男子はみな、生まれて八日目に、それを行わなければならない。家で生まれたあなたのしもべも、外国人から金で買い取られたあなたの子孫ではない者も。必ず割礼を受けなければならない。わたしの契約は、永遠の契約として、あなたがたの肉の上にしるされる。無割礼の男は、その民から断ち切られなければならない。わたしの契約を破ったからである。」また、神はアブラハムに妻のサライのことを言われた。「あなたの妻であるサライの名をサラとしなさい。わたしは、彼女を祝福し、彼女によって、男の子を与える。彼女は国々の母となり、国々の民の王たちは、彼女のうちから産まれる。」アブラハムはひれ伏し、そして笑った。だが、心の中で言った。「百歳の者に子どもが生まれようか。サラにしても九十歳の女が子を産むことができようか。」そして、アブラハムは神に申し上げた。「どうかイシュマエルが、あなたの御前で生きながらえますように。」すると神は仰せられた。「いや、あなたの妻サラが、あなたに男の子を産むのだ。あなたはその子をイサクと名づけなさい。わたしは彼と契約を立て、それを彼の後の子孫のために永遠の契約とする。イシュマエルについては、あなたの言うことを聞き入れた。確かに、わたしは彼を祝福し、彼の子孫をふやし、非常に多く増し加えよう。彼は十二人の族長たちを生む。わたしは彼を大いなる国民とする。しかしわたしは、来年の今ごろ、サラがあなたに産むイサクとわたしは契約を立てる。」神はアブラハムと語り終えられると、彼から離れて行った。そこでアブラハムは、その子イシュマエルと家で生まれたしもべ、また金で買い取った者、アブラハムの家の人々のうちのすべての男子を集め、神が彼にお告げになったとおり、その日のうちに、彼らの包皮の肉を切り捨てた。アブラハムが包皮の肉を切り捨てられたときは、九十九歳であった。その子イシュマエルが包皮の肉を切り捨てられたときは、十三歳であった。アブラハムとその子イシュマエルは、その日のうちに割礼を受けた。すなわち、家で生まれた奴隷、外国人から金で買い取った者、すべての男子は割礼を受けた。

コメント: 割礼がなぜ存在するのか不思議ですが、ここに意味がありました。神はアブラハムと契約を結ばれました。そのしるしとして、割礼をするように命じられました。モーセの時代でも割礼は命じられていました。レビ記 12 章 2～3 節『2 「イスラエルの子らに告げよ。女が身重になり、男の子を産んだとき、その女は七日の間汚れ、月のさわりの不浄の期間と同じように汚れる。3 八日目には、その子の包皮の肉に割礼を施す。』【2“Speak to the children of Israel, saying: ‘If a woman has conceived, and borne a male child, then she shall be unclean seven days; as in the days of her customary impurity she shall be unclean. 3 And on the eighth day the flesh of his foreskin shall be circumcised. 】エジプト記 12 章 48～49 節『48 もし、あなたのところに寄留者が滞在していて、主に過越のいけにえを献げようとするなら、その人の家の男子はみな割礼を受けなければならない。そうすれば、その人は近づいてそれを献げることができる。彼はこの国に生まれた者と同じになる。しかし無割礼の者は、だれもそれを食べてはならない。49 このおしえは、この国に生まれた者にも、あなたがたの間に寄留している者にも同じである。』【48 And when a stranger [1]dwells with you and wants to keep the Passover to the Lord, let all his males be circumcised, and then let him come near and keep it; and he shall be as a native of the land. For no uncircumcised person shall eat it. 49 One law shall be for the native-born and for the stranger who dwells among you.”】モーセと言え、律法です。その時代から、割礼は律法を行うことによって価値があるものになりました。では現在、今の時代でも価値があるのでしょうか？アブラハムの祝福を得る子孫とは、イエス・キリストのことです。ローマ 2 章 29 節には、包皮の肉を切り捨てる割礼ではなく、心の割礼こそ割礼であり、その人への賞賛は人からではなく、神から来ると書かれています。人の心に存在する罪である盗み、姦淫、偶像の神を拝すること等を切り捨てること、それが心の割礼であり、神が望んでいることです。